

|       |   |      |               |
|-------|---|------|---------------|
| 学 年   | 中学校1年   | 授業形態 | 必修・クラス単位・週2時間 |
| テーマ   | 学び方を学ぶ  |      |               |
| キーワード | 情報リテラシー・コンピュータ・探究活動   |      |               |
| 概 要   | <p>1. コンピュータを表現・探究の道具として活用するための基礎的な技術（ワープロ、作画、表計算、インターネットでの情報検索など）を習得させる。</p> <p>2. 各自興味・関心を持ったテーマについての探究活動を行う。それをホームページの形式で発表し、掲示板機能を活用した相互情報交換活動を行い、さらに課題を掘り下げていく。</p> <p>3. 活動を振り返り、各自で学習目標の到達度の自己評価を行う。</p> |      |               |

### 1. 学習の目標・ねらい

中学校1年生では、自己学習力の基盤となる「学ぶ方法」を学ぶことと、「探究的な態度」を育むことを目標とする。

「学ぶ方法」とは、情報の集め方、まとめ方、表現の仕方などのスキルを身につけることである。「探究的な態度」を育むとは、多面的なものの見方や捉え方を培い、自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決しようとする姿勢を養うことである。

これらの目標を達成するために、学びを豊かにする道具として、コンピュータとそのネットワークを有効に活用する学習活動を展開する。

具体的には、コンピュータを表現や情報収集、分析などの道具として活用できる情報リテラシーを育成する。探究活動に対して自己評価と相互評価を効果的に組み込むことで、課題の設定をよりよいものにしたたり、視野を拡げ、興味・関心を深めていく。

### 2. 育まれる能力

- (1) ワープロや表計算、ホームページ作成やインターネット検索など、コンピュータを活用する基礎的能力。
- (2) 学びや表現の道具として、コンピュータやネットワークを活用する能力。
- (3) 情報を収集し、分析する力。論理立てて思考する能力。
- (4) 興味・関心を高め、自ら課題を見つけ、よりよく解決しようとする自己教育力。
- (5) 互いの研究に適切にアドバイスしたり、自らの活動を振り返り適切に自己評価をする力。

### 3. 中・高6カ年における学習の位置づけ

中学校・高等学校6カ年の総合的な学習において、中学校1年生の段階では、自己学習力の基盤となる「学ぶ方法」を学ぶことと、「探究的な態度」を育むことを目標とする。「学ぶ方法」とは、情報の集め方、まとめ方、表現の仕方などのスキルを身につけることである。また、「探究的な態度」を育むとは、多面的なものの見方や捉え方を培い、自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決しようとする

姿勢を養うことである。

「学ぶ方法」では、特にワープロや表計算、インターネットをはじめとする「学びの道具」「表現の道具」としてのコンピュータ活用能力の育成を目指す。「探究的な態度」では、特に各自が興味を持ったテーマで探究活動を行い、各場面で適切に相互評価と自己評価を導入することで、自ら課題を見つけ、より深く広く探究する能力の育成を目指す。

#### 4. 指導上の工夫とポイント

##### (1) コンピュータの活用法について

近年のコンピュータの普及に伴い、1年生のコンピュータ操作能力も高くなってきている。しかし、コンピュータは使えるが、それに見合うだけの、各自の考えをまとめ表現したり、課題を持って調べる力が備わっているかが、一つの問題である。授業が、単にコンピュータの使い方で終わるのではなく、コンピュータを使って課題を探究していくことに重点を置いた活動にしていかなければならない。

##### (2) 生徒の興味・関心を基本に据えて(全員別々のテーマで)

生徒各自が興味を持ったことに集中できるように、また、自らの動機付けで学習が進むようにと、ワープロ学習の題材から一人1冊ずつの本を選ばせて活動する。

##### (3) 課題や内容を深める(相互評価・自己評価の活用)

課題を深めたり、各自がどこまでわかっているのかなどを知るために相互評価、自己評価を実施する。また、発表、質疑応答という場面だけでなく、掲示板機能を活用することで、活発な相互評価にしていく。

#### 5. 評価の観点

以下の4つの観点において評価を行っていく。①情報処理技術・能力や表現技術に関するスキルの部分、②表現能力、③意欲・関心・態度などの情意面、そして④内容・思考・判断の面。各観点に従っての、下表の項目を示したチェックシートを利用し、自己評価を行ったり、掲示板機能や質疑応答を活用した相互評価などを通して評価活動を展開する。

| ①情報処理技術・能力  | ②表現技術・能力  | ③意欲・関心・態度  | ④内容・思考・判断   |
|---|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの基本操作</li> <li>・ワープロの使い方</li> <li>・図の作成</li> <li>・ホームページの作成</li> <li>・表計算の利用</li> <li>・ネットの理解</li> <li>・情報の取捨選択</li> <li>・データの分析の適切さ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章、絵、グラフなどを有効に活用したか</li> <li>・わかりやすさ</li> <li>・読み手を意識しているか</li> <li>・个性的か</li> <li>・問題解決のプロセスが明確に示されたか</li> <li>・引用と本人の考えなどが区別できるか</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に取り組んだか</li> <li>・主体的な活動か</li> <li>・楽しんで活動しているか</li> <li>・評価活動に積極的に参加しているか</li> <li>・自己で満足できるか</li> <li>・自分の学びを振り返り、自信が強まったか</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で課題を見つけたか</li> <li>・課題の設定が明確か</li> <li>・深く掘り下げられているか</li> <li>・論理的にまとまっているか</li> <li>・内容に適しているか</li> <li>・学習方法(問題解決のプロセス)が習得できたか</li> </ul> |

6. 年間指導計画 (70時間)

| 月   | 単元名         | 学習のテーマ・ねらい   | 学習の具体的な内容   |  |
|-----|-------------|--|---|--|
| 4   | 1. 表現の方法を学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の基礎としてのワープロ操作や作図、およびホームページ作成など一連のスキルの習得をはかる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワープロ操作の基礎<br/>文章入力、変換、レイアウト、保存、印刷など。</li> </ul>   |  |
| 5   |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力する文章や探究する題材が、各自が興味を持って選んだ本をもとにしているということを出発点とすることで、生徒の興味・関心を高め、本の個性的な紹介やより深い感想などを作成・表現させる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「科学のアルバム」シリーズから、興味を持った本を1冊選び、その中の文章を題材に、文章入力と絵の作成・挿入を行う</li> </ul>                                      |  |
| 6   |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの作品を互いに公開することで個性的で、わかりやすい表現力の育成を目指す。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の本の紹介や感想の作成。<br/>その本(テーマ)にどのように(なぜ)興味を持ったか。本を読んで新たにわかったことや興味を持ったこと、感想などをまとめる。</li> </ul>              |  |
| 7   |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトの基礎</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトの基本的操作技術の習得。<br/>セルへの入力、計算、関数、グラフ化</li> </ul>   |  |
| (8) |             |  |   |  |
| 9   |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトを活用して、分析能力や表現能力を育む。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ処理と分析<br/>理科年表や地図帳のデータを整理、分析、比較しそのなかから各自の発見をまとめさせる。また、各自のテーマに即したデータをグラフ化するなど、分析力や表現力を深める。</li> </ul> |  |
|     |             |  |   |  |
| 10  |             | 2. 探究の方法を学ぶ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自のテーマに関連して、さらに詳しく課題を設定し、調べ学習を行う。</li> <li>・表現の道具、また調べ学習などの道具としてのコンピュータの活用をはかる。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の本についての感想と本の紹介および、これから調べたいことなどをまとめホームページの形式で互いに公開する。</li> <li>・インターネットでの調べ学習をするための検索方法の習得やそれを利用する上での注意点を学ぶ。</li> </ul> |

| 月  | 単元名          | 学習のテーマ・ねらい   | 学習の具体的な内容  |
|----|--------------|--|--|
| 11 |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことをホームページ形式でまとめ、公開していくことで、表現力のさらなる育成をはかる。</li> <li>中間発表では、それぞれのテーマについて、「こんなおもしろいことがある」「これについて教えて」などの意見交換する中で関心を高めるとともに、調べ学習の課題を明確にしていく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各自のホームページに調べたことなどを追加し、より広く、深いものを作り上げていく。</li> <li>探究活動の中間発表<br/>ホームページの掲示板機能を活用し、互いに意見交換を行う中で、さらに詳しく調べる課題を見つける。</li> </ul>  |
| 12 |              |  |  |
| 1  |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>研究をすすめる手順や発表方法を学ぶなかで、探究能力を育成し、自ら課題を見つけていく力を育てる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>意見交換を参考に、それぞれのテーマをさらに深く調べていく。この際、図書館やインターネットの活用をはかる。</li> </ul>   |
| 2  |              |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>さらに研究をすすめ、その内容をホームページにまとめ公開する。その際、研究目的（課題）、調べた結果、残った課題（疑問点）、参考文献等を明記する。</li> </ul>  |
| 3  | 3. 相互評価と自己評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>評価の観点を明確にして互いに相互評価をする中で、各自の研究を振り返り自己評価につなげ、メタ認知的な視点を育む。</li> <li>これまでの各自の課題を振り返り、それぞれの成長を評価し、自ら課題を持って学んでいく姿勢を育成する。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>研究発表会を開き、質疑応答で意見交換を行う。</li> <li>ホームページの掲示板機能を利用して、相互評価を行う。</li> <li>意見交換や相互評価から、各自の研究の成果や、残された課題などを整理する。</li> <li>これまでの成果はデータとしてコンピュータに保存されている。これらを振り返り、コンピュータで何ができるか。どのような利点があったかなどを振り返る。</li> </ul> |